

製品名: PLS2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16284**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	PLSCR2
別名	
遺伝子 ID	57047.0
SwissProt ID	Q9NRY7
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。AA 範囲: 90-170

背景

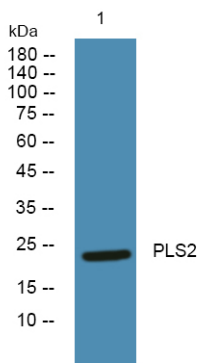
この遺伝子は、リン脂質スクランブラーゼファミリーのメンバーをコードします。リン脂質スクランブラーゼは、カルシウム依存性の非特異的な細胞膜リン脂質の移動とホスファチジルセリンへの露出を媒介する膜タンパク質です。コードされているタンパク質は

低親和性のカルシウム結合モチーフを含み、血液凝固およびアポトーシスに関与している可能性があります。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2011年1月]、補因子: カルシウム、機能: カルシウムイオンとの結合により、リン脂質の ATP 非依存性の双方向二重膜透過を促進し、細胞膜におけるリン脂質の非対称性の喪失をもたらす可能性があります。フィブリン血栓形成の開始、肥満細胞の活性化、細網内皮系によるアポトーシス細胞および損傷細胞の認識において中心的な役割を果たす可能性がある。、オンライン情報:スクランブラーゼエントリ、類似性:リン脂質スクランブラーゼファミリーに属する。、組織特異性:精巣でのみ発現する。、

研究分野

腫瘍免疫学、腫瘍関連抗原、癌、腫瘍バイオマーカー、腫瘍抗原、シグナル伝達、細胞骨格/細胞外マトリックス、細胞骨格、微小フィラメント、アクチンなど、アクチン結合タンパク質

画像データ



PC12 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、PLS2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩